



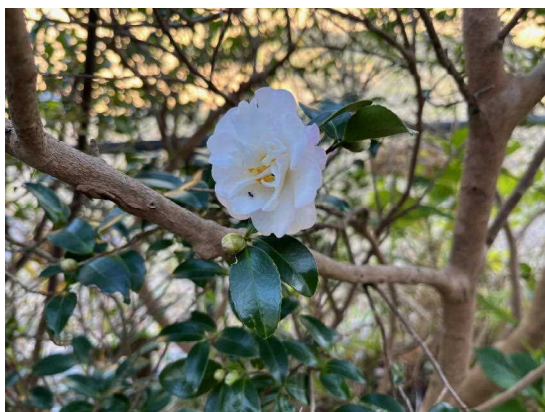
「あれ、良かったかな？」

毎日の生活の中で、温かくなる言葉をかける方がいる。

「あまり無理をしないでください。できることがあれば気軽にいつでもいってください。」

「いつも細かなところまでご配慮いただき、ありがとうございます。助かっています。」

「あなたの笑顔が、雰囲気をも明るくしてくれます。ありがとうございます。」



(山茶花 自宅 2023.11.12)

このような言葉をかけるようにしたいと思いつつ、実生活場面では、どちらかというと、逆にそのような言葉を戴いてはいないかと思う。まだまだ、温かい言葉を自然にかけることができていない。



(シクラメン 川南 IC 2023.11.10)

では、どうすればいいのか？その人の抱えておられる仕事上の課題や健康に関わることなど、できる限り、話を聞く（傾聴すること）が欠かせないだろう。

だが、自分に余裕があまりないときに、果たしてやれているのだろうか？そう指摘されたとしたら、自信がない。

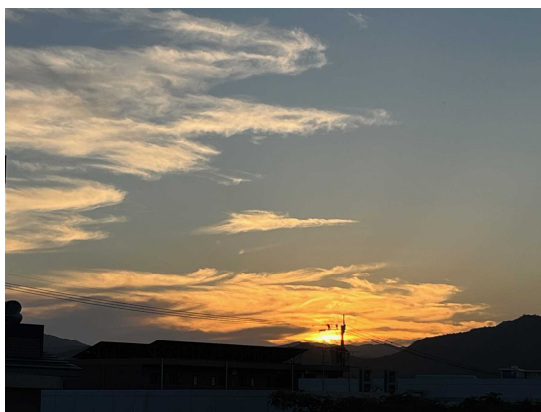


(曇り空 学園修道院 2023.11.9 12:21)

余計な一言で失敗したこともある。後になって、何か言葉をかけたときに、とっさに言ってしまった最後の言葉が、相手のことを考えて言葉かけしたのに、効果を半減させるような、温かくない言葉、余計な一言を言ってしまったこと…。

そんな時、つくづく「まだまだ、半人前だな、発展途上だな」と思う。

大空から、その言葉は相手を温めるか、冷やして固めてしまうか、考えてみる。そんな瞬間的な判断が必要なんだなあ。



(夕焼け 学園から眺める 2023.11.7 17:04)